

中東遠総合医療センター皮膚科研修プログラム (中東遠総合医療センター)

1 はじめに

本プログラムは大学医局への入局にこだわらず、中東遠総合医療センター皮膚科・皮膚腫瘍科を研修基幹施設として、藤枝市立総合病院皮膚科を研修連携施設として加えた研修施設群を統括する研修プログラムです。

静岡県中東遠医療圏は、静岡市と浜松市の中間にある医療圏で、医師過疎の地域であり、地域医療を充実させるという目的のためにも本プログラムは重要です。将来的には、浜松医科大学附属病院皮膚科や一人医長として菊川市立総合病院皮膚科も研修連携施設として視野に入れていきます。本プログラムでは各研修施設の特徴を活かした複数の研修コースを設定しています。

皮膚科領域の専門医取得を検討されている方は、ぜひ一度、当院の病院見学にお越しください。

研修プログラム統括責任者

中東遠総合医療センター

皮膚科・皮膚腫瘍科診療部長兼アレルギー疾患研究センター長 戸倉 新樹

2 研修病院群

(1) 専門研修基幹施設

中東遠総合医療センター皮膚科・皮膚腫瘍科

【施設特徴】

当院は、静岡県内でも有数の皮膚科病床数を持ち、直近1か月では最大15名入院している。

研修プログラム統括責任者は、当院のアレルギー疾患研究センターのセンター長を兼務し、炎症性・アレルギー疾患の患者を積極的に診療している。もう1名の指導医は、静岡がんセンター等での皮膚腫瘍外科医としての経験を活かし、メラノーマをはじめとする皮膚腫瘍の手術療法や免疫チェックポイント阻害薬・分子標的薬を用いた治療を盛んに行っている。

このため、当院では、炎症性皮膚疾患から皮膚腫瘍まで幅広い疾患の診療を経験することが可能である。さらに、小児科、内科、外科をはじめとする他科とのチーム医療を経験することができる。

(2) 専門研修連携施設

藤枝市立総合病院皮膚科

3 専攻医受入数 2名

4 研修期間 5年間

5 研修コース

本プログラムでは、以下の研修コースをもって皮膚科専門医を育成します。

コース	研修 1年目	研修 2年目	研修 3年目	研修 4年目	研修 5年目
a	基幹施設	基幹施設	基幹施設	連携施設	連携施設
b	基幹施設	基幹施設	連携施設	連携施設	基幹施設
c	基幹施設	基幹施設	基幹施設	基幹施設	連携施設

a：基幹施設を中心に研修する基本的なコース。

b：ただちに皮膚科専門医として活躍できるように連携施設にて臨床医としての研修を早めに行うコース。

c：最終年次に連携施設で研修し、異なった環境で後輩の指導を行うことにより自らの不足している部分を発見し補うコース。

6 研修内容

(1) 中東遠総合医療センター皮膚科・皮膚腫瘍科

地域医療の中核病院の勤務医として、第一線の救急医療、処置、手術法を習得する。特に当院は救急医療、手術療法を重視しておりそれに対応できるように修練する。またアレルギー疾患研究センターとの連携において炎症性皮膚疾患の診療も十分行うことができる。浜松医科大学医学部皮膚科の症例検討会に月1回参加し学習する。皮膚科学会主催の必須の講習会を受講し、年に1回以上筆頭演者として学会発表を行う。皮膚科関連の学会、学術講演会、セミナーに積極的に参加する。

(2) 藤枝市立総合病院皮膚科

指導医の下、地域医療の中核病院の勤務医として、第一線の救急医療、処置、手術法を習得する。皮膚科学会主催の必須の講習会を受講し、年に2回以上筆頭演者として学会発表を行う。皮膚科関連の学会、学術講演会、セミナーに積極的に参加する。病院が実施する医療安全講習会に定期的に参加する。

7 問い合わせ先

〒436-8555 静岡県掛川市菖蒲ヶ池1番地の1

掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター 臨床研修センター

電話 0537-28-9501 E-mail:kensyu@chutoen-hp.shizuoka.jp

HP: <http://www.chutoen-hp.shizuoka.jp/>